

議会だより

URESHINO うれしの

No.25

平成24年4月25日発行

3月議会
ニュースライン



横断歩道を渡る練習中の新一年生（大草野小）

議会に視察相次ぐ	市政を問う（15名が論戦）	私達のお願いどうなった（議員とかたろう会）	一般会計 131億8200万円をチエック
トピックス	一般質問	要望報告	当初予算
24P	13P	11P	2P

発行＝嬉野市議会 編集＝議会広報編集特別委員会

〒849-1492佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)3119

円で9.3%の増



本育館の完成予想図

当初予算

社会文化体育館建設に着手

本年度当初予算は、平成18年合併以後最大規模の131億8200万円、対前年度当初予算比9.3%、11億2千万円増の大型予算が計上された。

歳入予算では、自主財源の根幹を占める市税収入は、前年度比0.7%減の23億8330万円を計上。繰入金については、前年比60.5%増の5億7400万円が基金から繰り入れられて、自主財源比率は、前年比1.2ポイント減の28.8%となった。地方交付税は、前年比1億4千万円増の45億9千万円、市債は96.3%増の18億1200

万円、国・県支出金は所定の額が計上され、依存財源の比率は、前年比1.2ポイント増の71.2%となった。

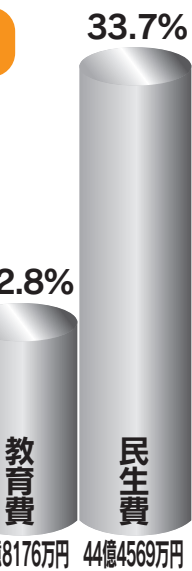
歳出予算については、各種検診、予防接種事業をはじめ、「中学生までの医療費助成」等の新規事業を含め、民生費の支出が33.7%と歳出予算を大きく占めている。待望の社会文化体育館の建設、太陽光発電に風力発電を加えた「再生可能エネルギー」設備等の経費補助など総務費が9.4%

塩田中学校改築事業や市内小中学校普通教室空調設備設置事業など教育環境の整備・充実を図る予算などの教育費が12.8%。

住宅リフォーム緊急助成事業、嬉野橋補修補強事業、全天候型多目的広場整備事業など土木費に9.9%。

市債などの返済財源として公債費7.6%などが主な歳出予算である。

自主財源の比率の低さが気かりな予算の内容となっているので、これからも市民付託を受けた議会として厳しくチェックしていかなければならない。



借金返済に年間で 1人当り 3万5113円 一般会計

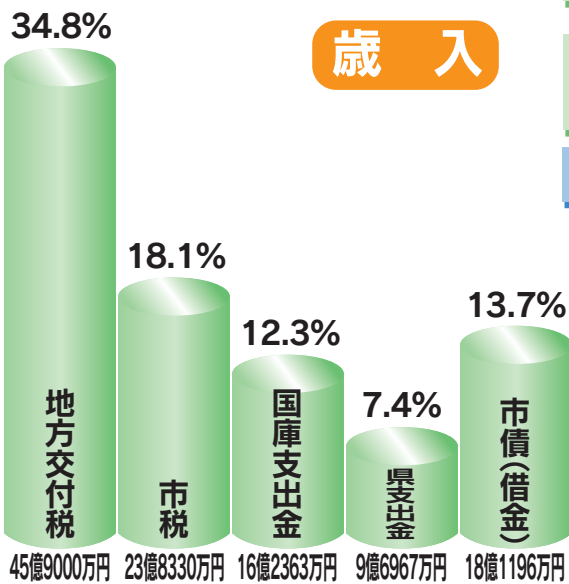
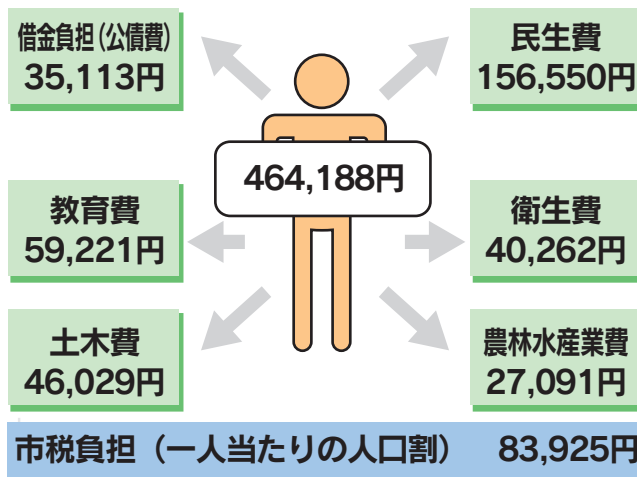
131億8200万

会計名	予算額	前年度比
一般会計	131億8200万円	9.3%増
特別会計	国民健康保険	42億1052万円 2.5%増
	後期高齢者医療	3億2061万円 6.2%増
	農業集落排水	6億945万円 22.2%減
	公共下水道事業	3億3763万円 12.1%増
	第7土地区画整理事業	2億5718万円 1.2%減
	第8土地区画整理事業	1億7266万円 1.6%増
	嬉野温泉公衆浴場	4928万円 12.3%減
水道事業会計	収益的収入	6億1215万円 15.9%減
	収益的支出	6億3644万円 6.3%減
	資本的収入	2403万円 76.9%減
	資本的支出	1億8617万円 38.4%減

平成24年第1回定例会は、3月2日に召集され、3月23日まで22日間の日程で開催。
今議会は年度当初でもあり、市長の施政方針を受けて、提案された平成23年度補正予算、平成24年度一般会計予算・特別会計予算、条例の制定・条例の一部改正・条例の廃止など、全部で33件の議案が提案され、条例制定の修正案など2件の議員発議を含め慎重審議の結果、いずれの議案とも全会一致で可決された。（賛否表はP10）
一般質問は、議長を除く17名の議員中、15名が3日間わたり登壇し、市長をはじめ執行部に対し、鋭い指摘が活発におこなわれた。

▲社会文化

市民（28,398人）一人当りの一般会計状況



歳出

より良い教育
環境に対応

各小・中学校に空調設備を設置

教育・文化



近年の地球温暖化等の環境変化により、夏の高温化や冬の低温化に対処するため、市内の各小中学校の普通教室にエアコンを導入する費用1億796万円が計上された。これにより小中学校の快

塩田中学校改築に着手

適な教育環境が確保されることを期待する。

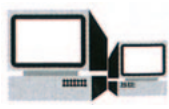
塩田中学校を改築する費用、24年度分2億6470万円、25年度は14億3744万円が計上予定で25年度中の完成予定となっている。

「学びの森」を配置し併設される社会文化体育

館との連携も図られる。日本の伝統芸能である

「歌舞伎」を市内の小中学生に鑑賞してもらうため、「出前学校歌舞伎開催事業」として255万円が計上された。子ども達には、日本が世界に誇る文化が体験できることに期待したい。

総務・企画



東日本大震災の教訓を踏まえ市民の防災行政無線等の整備を目的に3億2505万円（3年間の総工費9億5866万円）の事業費が計上された。議会として今後、事業内容の精査を課題として

防災行政無線の整備拡充

執行部へ申し入れた。

緊急防災資材の備蓄と非常用発電機建屋建設として塩田地区・嬉野庁舎に設置するために7917万円が計上された。

被災地支援に174万円、再生可能エネルギー設備設置費として太陽光発電、小型風力発電システム設置に昨年より増額で950万円が助成される。

（UD）を取り入れたオペラ上映が小中学生対象にUDの啓発を目的とする事業として372万円の計上がされた。

再生可能エネルギー設備設置費として太陽光発電、小型風力発電システム設置に昨年より増額で950万円が助成される。

観光・商工



河川の遊歩道をライトアップ

塩田川の遊歩道（曙橋く嬉野橋の区間）をライトアップするための基本設計に110万円が組まれ、観光地「嬉野温泉」の魅力アピールし観光振興を図る。

県の緊急雇用創出事業交付金事業1883万円を受け、外国人観光客受入体制整備事業、観光情報発信事業、嬉野市元気発信事業、嬉野温泉まつり活性化事

業の4事業に取り組み、観光客増を目指す。

地域力開発プロジェクト推進事業は市内8チームの専門グループから嬉野市の活性化のための意見を取りまとめ、市全体の地域活性化、観光客誘致に取り組み。そのため900万円が計上された。

その他、東アジア諸国からの観光客誘致に向けて魅力的なパンフレットを多言語で制作するために150万円、志田焼の里博物館の人道橋設置工事に1500万円などが計上された。



▲着々と工事が進む屋内運動場

建設・都市計画



屋内運動場の完成せまる

総合運動公園に昨年から建設中である全天候型室内多目的広場の工事費用に1億4455万円（総工費2億9905万円）を計上し、9月頃の完成を目指して工事が急ピッチで進められている。

九州新幹線西九州ルートの新野温泉駅周辺整備事業が社会資本整備総合交付金事業として1億8千万円の予算をつけられ、土地区画整理事業の形で始まる。新幹線を活かした新しい街づくりに期待したい。

現在進められている嬉野橋の補修補強工事は、3430万円（総工費1億2600万円）をかけた5月末の完成が待たれる。住宅リフォーム緊急助成事業は昨年始まった県の事業に市も上乘せし5069万円の予算。

市道改良工事に9510万円、15路線が予定されている。

保健・福祉



農林・水産



本市においては総合がん検診や女性特有のがん検診等、ガン対策に積極的に取り組んできた。

今年度は新たに胃がんの発生に深く関与するピロリ菌の検査費50万円が計上された。対象は30歳で5千円が助成される。今後とも検診率向上の対策が望まれる。

予防接種事業に関しては、予防接種法に基づく接種である定期接種と任意の予防接種がある。

任意予防接種事業として、子供インフルエンザ予防接種と高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種への助成制度として444万円が計上された。

本市独自の制度として

健康増進の事業拡大

評価するところだが、接種率の向上が今後の課題だ。

検診事業と予防接種事業の充実により、疾病の減少と市民の健康維持をはかり、さらなる医療費の削減にも積極的に取り組むべきだ。

うれしの茶交流館建設に

建替え、その予算に1070万円。

有害鳥獣被害防除対策事業に443万円。イノシシだけではなくアライグマ、アナグマも増えてきており、その対策の強化も望まれる。

国や県の補助事業に絡み、茶業振興関係に5520万円、集落営農や地域農業水利施設等事業に4758万円、林道整備事業などに3437万円が盛り込まれている。



▲お茶の交流拡大に向けた初摘み体験

返して借りて 借金103億1650万円



▲財政運営に必至の財政課

借金は

1人当たり

36万円

問 本年度に9億9715万円の借金返済を必要としているが本年度末の借金見込み額はいくらか。
答 借金見込み額は103億1650万円である。
問 市民1人当たりにするといくらか。
答 1人当たり、36万3282円となる。

社会文化体育館

建設に

5億39331万円

問 工事総額はいくらか。
答 平成25年度までの2年間で15億7176万円の事業となる。
問 ランニングコストの

行政防災無線

整備に

3億2505万円

問 工事総額はいくらか。
答 平成26年度までの3年間で9億5866万円の事業となる。
問 内容見直しと予算削減を指摘したが反映されていない。
答 今後、運用は検討する。

被災地支援に

174万円

問 被災地支援はこの



▲いよいよなくなる嬉野保育所

市税の徴収

対策に

40万円

問 滞納処理に40万円は何か。
答 県滞納整理推進機構の負担金である。
問 県滞納整理推進機構

嬉野保育所

解体に

760万円

問 保育所跡地の活用はどうするか。
答 解体して公園とする。

削減は図られたか。
答 要員を含め維持管理費の削減を図り年間2千万円程度となる。

地区にいくのか、どのような内容か。
答 気仙沼市で、短期の1週間程度と中期の3カ月程度に各1名を予定している。

の復活した理由は。
答 県と連携することにより徴収効果が出ているので県に要請した。

その他の主なもの

歳出の内訳	金額
緊急防災・減災事業	7917万円
定住促進奨励金	3000万円
再生可能エネルギー設備設置	950万円
無線LANフリースポット設置	133万円
結婚支援推進	276万円
和泉式部短歌大会	166万円
塵芥処理事業	3億4286万円
中小企業融資貸付事業	2億500万円
うれしの茶優良品種導入事業	200万円
都市公園安全安心対策	2160万円
放課後児童健全育成事業	2739万円
介護予防事業	3604万円
ガン検診推進事業	599万円
妊婦健康診査事業	2341万円
校長先生の知恵袋事業	200万円

【答】 近年の地球温暖化による夏の異常高温や冬の

中学生の

医療費助成に

1078万円

【問】 この事業の目的は。
【答】 中学生の保健の向上と子育て世代の負担軽減のため。

【問】 どのような内容か。

【答】 中学生の医療費の1カ月分を自己負担費用から500円差し引いた分が申請により返還される。

小中学校の エアコン設置に

1億796万円

【問】 近年の地球温暖化による夏の異常高温や冬の

【答】 この機会に市内の子ども達に日本文化を体験させたい。

【問】 いつ、どこで開催か。
【答】 来年3月に嬉野市体育館で1千人規模での開催予定。

【問】 農業応援プレートに
101万円
うれしのの農業応援

【問】 うれしのの農業応援

低温で学習環境が悪化している。特に夏の熱中症対策等、改善が必要となった。

【問】 本当に設置は必要か。

【答】 今の教育環境は精神論だけで賛否を論じる範疇を超えている。

【問】 設置箇所は。

【答】 小学校61教室、中学校19教室に設置。

歌舞伎

出前講座に

255万円

【問】 なぜ歌舞伎なのか。

【答】 九州方面に講演が来るので希望を出した。通常であれば1千万円以上の費用がかかる。

【問】 この機会に市内の子ども達に日本文化を体験させたい。

【問】 いつ、どこで開催か。
【答】 来年3月に嬉野市体育館で1千人規模での開催予定。

【問】 農業応援プレートに
101万円
うれしのの農業応援

【問】 うれしのの農業応援

の店支援事業の内容は。
【答】 応援プレート制作に101万円。

【問】 どういう効果を狙っているのか。

【答】 嬉野産の農作物の需要拡大と嬉野の農業を応援してもらうため。

【問】 応援プレートはどのようなものか。

【答】 木製フレームに手漉き和紙で、応援の店を表し、飲食店に配布する。

【問】 基準はどうするのか。

【答】 1点以上地元産の食材を使用してもらう。

【問】 どういう内容なのか。

【答】 健康保養地づくり計画書に基づいて、元気で快適な生活ができる場・空間を築いていくことだ。

【問】 具体的には。
【答】 市民には他の温泉保養地の視察や講習で意識を高めてもらい、観光客にはモニターツアーとして嬉野温泉に泊まってもらいその意見感想を伺う。

【問】 モニターツアーの実

【問】 モニターツアーの実

【問】 実施時期は。

【答】 9月頃に1千人程度を考えている。

バンガロー改築

1070万円

【問】 今回改築するのは何人用か。

【答】 5人用1棟と10人用1棟でユニバーサルデザイン仕様になる。

【問】 利用者が減少しているのに、これからも整備、投資していくのか。

【答】 利用状況を見ながら検討していく。

川柳大会に

127万円

【問】 予算の中味は。

【答】 ホームページや公募ガイドにかかる費用と、歩きながら投稿してもらうポスト設置の費用。

【問】 ほかに優秀作品の賞品やチラシの作製費用。

【答】 7月・8月・9月の3回、違う題目で行う。



▲改修されるバンガロー

子育て支援事業に重点

医療費助成を 中学生まで拡大

中学生の保健の向上と子育て世代の負担の軽減による生活の安定を目指すために、今回、条例が制定された。

これまででは、小学生までの制度として取り組んできたが、今回の条例制定により、中学生の医療費は自己負担費用から500円を差し引いた分を

申請により返還され、本市においては中学生の医療費負担が大幅に軽減されることになる。

他自治体に先駆けて取り組んだことは特筆すべきことであり、今後とも人に優しい街づくりのための施策に積極的に取り組むべきである。

事業系ゴミ袋を 細分化

細分化

条例一部改正の主な改正点は3点で、

①事業系の指定袋に小1枚50円を設けた。

②犬・猫の死体の処分は1体につき1500円の手数料が必要になる。

③各地区のごみステーションに搬入された再生資源物を市から委託された者以外は持ち出しできない。

以上が条例に定められた。

嬉野市営住宅 条例を改正

条例を改正

地域主権一括法の関連で、これまで国の法律で規制されていたものを各自治体の条例で決めなければならなくなった。

具体的には、市営住宅入居者の利用料金や入居資格・条件を条例のなか

に細かく明記することである。運用の内容は利用料金を含めこれまでと同じ案件となっている。

人権擁護委員 に推薦

に推薦

人権擁護委員の中島雪枝氏の任期が平成24年6月30日に満了するのに伴い、新たに杉光貴美子氏(49歳 塩田町大字馬場下)を市長が推薦するた

め議会に提案された。これに議会として全会一致で適任と認めた。



人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱され、国民の基本的人権が侵犯されることがないよう監視し、もしこれが侵犯された場合には、その救済のため、すみやかに適切な処置をとるとともに常に自由人権思想の普及高揚に努めることがその使命である。



▲仕分けされた再生資源物(中継基地)

嬉野市暴力団排除条例を制定

佐賀県暴力団排除条例が制定されたのを受けて県下全市町も条例を制定することになった。

安全で平穏な市民生活の確保と社会経済の健全な発展に寄与するために市と市民が一体となって市民生活や社会経済の場から暴力団を排除しようとするものである。

昨今、暴力団同士の抗争事件や一般市民を巻き

込んだ事件が頻発して世間の関心が高まってきていた。これに警察も本腰を入れて応えるために、市民はもちろんのこと行政とも連携を深める必要に迫られていた。

この動きは、全国的な広がりを見せておりそれによって効果が上がるものと考えられる。

嬉野市議会では、市提出の原案に対し一部修正

案を提出し可決した。

主な修正項目として、市民等の安全確保のために、「市は暴力団等から危害が加えられると認められる者に対し、安全を確保するために佐賀県警察本部または警察署に対し警察官による必要な措置を講ずる」との条項を新たに付け加え、より効果的な条例とした。

平成23年度3月補正予算

嬉野中学校の武道場建設へ

平成23年度3月一般会計補正予算は、国庫補助事業への申請認定に伴う国庫支出金の決定や、土地開発基金からの繰入金、合併特例債の増額など、国からの交付金が廃止され、厳しい財源措置となった。

補正の主な内容は、塩田小学校耐震補強改修・嬉野中学校武道場等建設・屋内多目的広場整備・うれしの茶優良品種導入への追加などが計上され、土地開発基金から公共施設建設基金へ1億5千万円と地域づくり推進事業基金に1億3589万円が積立金

3月補正予算の状況

会計名	補正額	総額	
一般会計	3億9542万円 増	134億4258万円	
特別会計	国民健康保険	5259万円 減	42億3721万円
	後期高齢者医療	523万円 減	2億9900万円
	農業集落排水	1777万円 減	8億6901万円
	公共下水道事業	485万円 減	2億5946万円
	第7土地区画整理事業	162万円 減	2億5803万円
	第8土地区画整理事業	318万円 減	1億6658万円
	嬉野温泉公衆浴場	639万円 減	5015万円
水道事業	収益的収入	1119万円 減	7億1967万円
	収益的支出	2480万円 減	6億5573万円
	資本的支出	300万円 減	3億4706万円

として増額された。多くの費目で減額補正がなされた結果、財政調整基金へ2億5522万円繰入金として戻入れができたことは、今年度財政運営の大きな成果である。

厳しい経済環境が続く中、中小企業貸付保証料が726万円増額され、景気の回復に支援を期待したい。

特別会計においては、七つの特別会計及び、水道事業会計すべてにおいて減額補正となり、収支決算の結果が気にかかる。



▲剣道に励む嬉野中の生徒

その他の主なもの

	補正予算額
ふるさと応援寄付金基金	263万円 増
生活扶助費等扶助費	2350万円 減
がん検診等委託料	628万円 減
ワクチン接種費等委託料	1380万円 減
緊急雇用等委託料	1748万円 減
生活道路路線維持費	399万円 増
塩田小学校耐震補強改修	2億2454万円 増
嬉野中学校武道場等建設	1億3433万円 増
全天候型屋内多目的広場整備	5085万円 増

皆さんの要望伝えます



▲大事に守っていききたい塩田津町並み

国民の権利を支える行政サービスの拡充を求める陳情書
佐賀県生活関連公共事業推進連絡会議議長
樋口 充喜

「塩田津町並み交流集会所」の開館継続について
特定非営利活動法人塩田津町並み保存会
理事長 前田 貞昭

佐賀県西部広域環境組合事業の建設工事に係わる入札資格に対する要望書
鹿島市建設業協会会長 栗山 直敏
嬉野町建設業協同組合理事長 小川 辰弘
塩田町建設業協同組合会長 大川内 政幸
大良町建設業協会会長 副島 敬三郎

地元業者を下請け業者にする陳情書
代表団体 高木鉄工株式会社
代表取締役 高木 豊 他3名

知ってますか 請願・陳情の 出し方

- みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文書による請願や陳情書の提出があります。
- 提出にあたっては次の事項に注意してください。
- 請願や陳情書には要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- 請願書は一人以上の紹介議員が必要です。
- 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- 道路等は簡単な地図(略図)をつけてください。
- 請願や陳情書のメ切りは定例会開会の六日前までです。

議案の賛否どう判断

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議案名	結果	表決数	番 号																
			1 辻 浩一	2 山口 忠孝	3 田中 平一郎	4 山下 芳郎	5 山口 政人	6 小田 寛之	7 大島 恒典	8 梶原 睦也	9 園田 浩之	10 副島 孝裕	11 田中 政司	12 織田 菊男	13 神近 勝彦	14 田口 好秋	15 西村 信夫	16 平野 昭義	17 山口 要
平成24年 3月定例会 嬉野市暴力団排除条例修正案	可決	17.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嬉野市子ども及び小学生の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	可決	17.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度嬉野市一般会計予算	可決	17.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度嬉野市一般会計補正予算(6号)	可決	17.0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

私たちの願いどうなった

議員とかたろう会の要望にお答えします

今回で6回目になる「議員とかたろう会」を平成23年11月21日から25日までの4日で開催しました。

市民の皆様より要望があつた意見を議会で集約し、執行部に対し申し入れを行いました。その回答の一部を紹介します。

イノシシ対策について
小動物も含めて、免許なしで農が掛けられないか。簡単な捕獲の許可が出来ないのか。

答 平成24年度より小型鳥獣は県の方針で、被害防止の自衛捕獲であれば、住宅敷地内、農地内に限り狩猟免許なしでも小型箱わなの設置が可能です。事前に捕獲許可の申請が必要です。イノシシは、事業地内において、囲い罾で捕獲できませんが、狩猟者保険加入が必要です。捕獲には過去に狩猟関係法令に違反したことの無い方に限りま

市道の一部補修については、原材料費の支給はあるのか。

答 市道の管理については基本的に市が行います。改良等につきましては、予算の面もあり優先順位を決めて事業を行なっています。しかし、全市道にまでいきわたらないのが現状です。地元区役等で施工可能な補修については、市で確認し予算の範囲内で材料費の支給を行っているところですが。

市内は空き店舗が増えさびしい街となっている。若者が定住できるように企業誘致を推進すべきでは。

答 企業誘致については、県と随時情報交換を行うなど連携して進めています。なかなか企業誘致実現には至っていない状況です。企業においては景気が低迷している中、更なる事業展開や規模の拡張に踏み切れない

状態が続いていますが、市としては企業誘致については、雇用確保のためにも是非実現できるように努力をつづけてまいります。

行政防災無線を市内各事業所へ配備できないか。子供の下校時、帰宅時間に合わせて、行政防災無線の活用を。

答 市においては24年度から26年度までの事業度として、デジタル対応の防災行政無線施設整備事業を計画しています。受信機の配置は市内の各世帯への配置とあわせて、事業所からの要望による配置も検討しています。26年度までは現在の運用形態となります。子どもの下校時の防災行政無線の活用は24年度からの施設整備とあわせて検討します。

大型の道の駅の建設はどう考えるか。

答 道の駅は、道路管理者の国（地方整備局）や都道府県が基本的な施

設である駐車場やトイレを整備し、市町村、またはそれに代わり得る公的団体（ほとんどが第3セクター）が地域側施設を設置します。

市としても必要性を認識しており、今後の課題として進めてまいりたいと考えています。

各地区の防犯灯のLED取替えに対する助成について。

答 市内の各地区の防

犯協会に対して、防犯に関する事業を实地してもらうために、補助金を拠出しています。LEDへの変更は節電や経費節減効果もあり有効と考えますが、要望されているLEDへの切り替えに対する助成については、地区の防犯協会で検討なされるべき事項と思われま



▲議員とかたろう会のスナッフ

議会改革の取り組み

政策討論会を開催

執行部に政策提言

嬉野市議会は積極的に議会改革に取り組んでおり、常に市民目線にたち市民に開かれた議会を目指している。

その中で昨年9月議会の決算委員会を機に各常任委員会（総務企画・文教厚生・産業建設）から決算で問題になった施策を出し合い、さらに実態調査や勉強会を重ねて議論を交わした。

今回、初めての開催であったが、議会として、それぞれの案件を政策提言として執行部に申し入れた。

これからの議会は執行部提案に対して審議・採決するだけでなく、議会自らも積極的に提案していくことが求められている中で今後とも政策討論会の充実を図っていき

「湯つくらーと」の契約見直しを

「湯つくらーと」については、その設立当時の環境と様相が大きく変わり、これまで果たしてきた役割は他の民間の施設に取って代わられている。

また、指定管理者制度で運用されているが、国庫補助を受けて建設された施設であり、行政において国との協議を早急に進め、自由な経営ができる環境にすべきと言える。

そこで、指定管理者制度から除外して同じ敷地内で運営されている「デイサービス春風荘」との一体運営と指定管理者制度の契約期間を1年毎の更新にすべきとの2点を提言した。

定住奨励金のPR拡大を

人口減少に歯止めをかける施策として定住促進条例の奨励金制度は、4年間に45件の実績があるが、制度利用者へのアンケート調査の結果、この条例が要因で嬉野市へ定住を決められたかは不明である。

転入奨励金・持ち家奨励金制度は、施行期間終了後も継続すべきであり、さらに子育てや福祉などの住環境の整備に努め「嬉野市の住環境の良さ」と、この制度を合わせて広く市内外にPRしていくべきである。

さらには、この制度を利用した市内施工業者の利用が増加するようPRに努めるべきである。

リフレッシュ農園の活用を

リフレッシュ農園は、現地調査により立地条件を含め利便性も高いことが明らかになった。

しかし、これまでの整備が不十分な点も見受けられた。

民間でも同様の取り組みもあるが総合的に検証の結果、観光施策とともに

に高齢者・障がい者対策等福祉事業としての一面もあり、利用者の利便性を考慮して農園および周辺の管理の徹底や、情報誌等の活用などPRに努めることにより継続することを提言した。

また、利用者には、農業体験を通じ精神的にも健康な体を養っていただきたい。



▲何とかしたい「湯つくらーと」

15議員が質問

(おもな内容)

市政を問う

ケーブルテレビ
インターネット 放映中



- **山口政人議員 (14P)**
○六次産業化の必要性は
- **平野昭義議員 (14P)**
○駐車場完備で湯治客増を
- **梶原睦也議員 (15P)**
○うつ病対策にどう取り組むか
- **織田菊男議員 (16P)**
○嬉野市の人口減少は
- **大島恒典議員 (16P)**
○公共施設に駐輪場整備を
- **副島孝裕議員 (17P)**
○伝承芸能を保存・継承していくための支援策は
- **山下芳郎議員 (18P)**
○震災地のがれき処理は
- **辻 浩一議員 (18P)**
○春日溪谷のトイレ整備はどうする
- **田口好秋議員 (19P)**
○基金の目標額は
- **田中政司議員 (20P)**
○大野原地区にある最終処分場の拡張計画は
- **田中平一郎議員 (20P)**
○五町田・谷所農業集落排水事業の進捗状況は
- **神近勝彦議員 (21P)**
○農道舗装を対象に
- **西村信夫議員 (22P)**
○肥料配布する時期は
- **山口 要議員 (22P)**
○湯宿広場にトイレを
- **小田寛之議員 (23P)**
○区役ででた草や泥の市有の処分場を

六次産業化の必要性は

山口政人 議員

答 さまざまな分野での取組みを計画したい



山口 従来、農家の方は農産物を生産することに専念し、加工や販売に携わることには関心が薄かったと思う。

規模拡大しても施設の整備、大型機械と経費がかかる。今後は農業のあり方を変える政策転換が



▲嬉野にも欲しい道の駅（太良の道の駅）

必要ではないか。

市長 農家の方が販売までとなると厳しい面があると思う。

販売のプロと連携するのが大事だと思うし、販路の開拓と確保が課題になる。

山口 塩田町の基幹産業は農業であるが、農業が衰退すれば地域の歴史、文化、つながりも衰退する。

六次産業化を農業振興の重点施策として位置づけをするべきと思うかどうか。

市長 一般の農家がすぐ取組めるのか厳しい面もあるが、できる範囲で協力していきたい。

山口 六次産業化に取り組みながら、塩田町に走る国道498号線沿いに道の駅を造る構想はないか。これは買い物弱者の支援にもなると思うが。

市長 現在、構想としては持ち合わせていない。

職員の再任用について

山口 定年退職後の再任用職員の勤務形態はどの様になっているのか。

駐

車場完備で湯治客増を

答 集いの湯を育てていきたい

平野昭義 議員



を好む中国人客を祐徳院へ案内し、また、嬉野にきたら有明海の産物も食べられることでリピーターにできないか。

観光商工課長

上海から

平野 シーボルトの湯は、駐車場が遠く不評であったが、目前に完備され湯治を親しまれるお客様の倍増が期待される。

これを期に「シーボルト湯元年」と位置づけ、サービス産業の原点に返り温泉街の活性化に取り組みんで行くべきでないか。

市長 シーボルトの湯では、現在、健康教室、囲碁大会、朝湯の会、子どもたちの作品展などを行っている。今後は、市内の団体の活動など呼びかけて、集いの湯を育てていきたい。

企画部長

登録者は男子

平野 佐賀空港と上海を結ぶ定期便が就航した。旅行会社と提携し、赤色6組は出会いの場を設け

会わせている。その内2組は好ましい方向性で進んでいる。

税金の未納対策について

平野 小国町の黒川温泉は、納税組合が結成され固定資産税などの税金の滞納はない。優秀な組合には奨励金が支払われている。

納税に対する勉強会など開くべきではないか。

市長 納税の意識高揚については、日々職員が努力しており、確約書などからせ厳しく行っている。いろいろな摩擦もあるが御理解いただいて納入方をお願ひしていくということ而努力している。

結婚支援課について

平野 結婚支援課として地域コミュニティとの連携は考えていないか。

市長 今後は結婚推進のセミナーなどの開催や、地域コミュニティなどさまざまな団体との連携も行っていく。



▲うつ病対策のPRポスター



うつ病対策にどう取り組むか

関係機関の連携が大事

梶原睦也 議員

総務部長

短時間勤務と
いうことで採用している。
山口 再任用は、年金の
満額支給が65歳まで段階
的に引き上げられるので
それを補完するための制
度であるが、今後、再任
用を希望する職員の見通
しはどうか。
総務部長 再任用を希望
される方は、必要な人員

山口

を適正に採用していく。
再任用職員は短時
間勤務なので、個々の部
署に配置では大事な仕事
はまかせられない。また、
元上司に仕事をお願いし
にくいといったことがな
いように、ひとつの部署
で今までの知識、経験を
生かした仕事をしてもら
ったらどうか。

市長

再任用職員を採用
する場合は、能力その他
を判断して、必要な職場
に配置をしているし、職
員の希望している職場に
配置をしているのではな
い。



▲入湯客増に向けたいシーボルトの湯

梶原

15人が集まればそ
のうち1人はうつ病を経
験しているというのが今
の状況だ。
市職員、市民の実態把
握は出来ているか。

市長

職員についても増
えてきており、専門医や
保健師と連携し、対応し
ている。

健康づくり課長

平成23
年の3月31日現在で、自
立支援医療台帳では本市
は60名となっている。こ
れは申請された方のみで

梶原

実態把握は出来ていない。
まずは、うつ病を
知ることが大事だ。講習
会や情報提供が必要では
ないか。

市長

現在、健康推進教
室等でうつ病については
早期治療の勧めなどもや
つてはいるが、誰でも起
こりうる病気のひとつとし
て関係機関や地域の連携
の中で対策が大事であ
る。

梶原

うつ病治療として
薬物療法と認知行動療法

との同時並列による治療
が効果を上げており、特
に認知行動療法は201
0年の4月より保険適用
となった。このようなう
つ病に対する情報や相談
事業も含め専門医と行政
の連携が必要だと考える
が。

市長

他の医療関係もそ
うだが、本市では医師会
にうまくいつている。

梶原

うつ病の方の情報
収集としては、インター
ネットを活用する頻度が
非常に高いとの報告があ
る。

市長

市のホームページでう
つ病対策の掲載や専門サ
イトとのリンクなど、う
つ病関連の情報発信をす
べきではないか。

梶原

うつ病になって一
番深刻なことは自殺を誘
発することだ。うつ病が
悪化した人の10人に1人
が自殺するといわれてい
る。
その対策はどうするの
か。

市長

専門家のアドバイ
スを受け適切に対処する。
梶原 住民が身近な人の
自殺を防ぐゲートキーパ
ーの要請が必要ではない
か。

市長

地域との連携でそ
のような制度も導入でき
ればと思う。

嬉野市の人口減少は

織田菊男 議員

答 予測人口値に近い所で進んでいる



織田 合併後も人口が減りつつけているがどうか考えるか。

市長 予測人口値に近い所で進んでいるが、子育てしやすい政策に予算を増加している。住環境、

保健福祉施策の充実、教育環境の整備など施策として考慮していく。地域コミュニティにおいても各地域の触れ合いを重点事業とし展開している。

企画部長 嬉野市は、定住奨励金、それから子供を育てやすいように医療保護や婚活、そのような事業を取り組みながら人口増加を目指している。

織田 婚活に対してどのような考えを持っているか。

企画部長 男女が気軽に交流しながら婚活に結びつけている所もある。嬉野市でも研究をしてみたいと考えている。

農業委員会事務局長 現在、女性の農業委員が1人おられ、この方が中心になって農業者サイドの婚活について推進、努力されている。

農業集落排水事業

織田 農業集落排水の今後の計画は。

市長 現在計画ができていない地域は審議会の委員会等を立ち上げ、次の計画をどのような形で整



▲放置された自転車（高速インター付近）

公 共施設に駐輪場整備を

大島恒典 議員

答 設置にむけて、ぜひ検討していきたい



大島 市内の公共施設を見たとときに二輪車の駐車スペース（駐輪場）が確保できていない状況であると思うが。

財政課長 駐輪場としては、塩田庁舎と嬉野のパ

スセンターの2カ所あり、正式に駐輪場の表示をしているのはバスセンターだけである。

大島 今は電動アシスト自転車などの普及により年配の方の利用も進んでいる。それに、高速インターの停留所など、駐輪場が指定されていないためばらばらに止めてあり、景観上いかかと思う。

計画的に駐輪スペースを設置していくべきだと思うが。

市長 施設入り口付近に設置できるか課題もあるが、設置できていない部分についてはぜひ検討していきたい。

水道事業について

大島 合併以来の懸案事項であった水道料金の統一が今年4月から施行される。これからの水道事業を考えたときに、塩田地区における水道使用量を増加させていくことが必要であると考えているが。

水道課長

現在、鹿島市から給水を受けている地区が、今回、嬉野市から給水してもよいという意

思もあり、今、鹿島市と協議中である。

大島 井戸水の利用者も多いと思うが。

水道課長 昨年、井戸水の調査をおこなっておりそのデータをもとに戸別訪問をおこない、加入促進に向けて安心・安全な水道水をアピールしていきたい。

大島 今年が加入促進に向けたチャンスだと思っている。

今後の水道事業の安定に向かって頑張ってもらいたい。

市長 課題はあったが料金統一について当初の計画通り実行ができた。水道事業の責任者として安全・安心の嬉野の水道水を利用していただくよう広報などおこなってきたい。

その他の質問
・人口減少問題について
・道徳教育について



▲楽しい保育園

備していくかまともていきたいと思う。
織田 今のままでいくと管理費が増すと考える。今後、経費の節減に対してどう考えられるか。
市長 農集に加入してもらうことが大前提だ。農集はこれまで赤字経営だったが、市全体で支えてきた。しかし、このまま続けていくのは限度があると思う。
 今使用している農集の維持管理費は1軒当たり4万5千円程度必要である。

織田 今回の建設の条件にコンポストがあるかどうか考えているか。
市長 コンポストの利用は肥料の法律がある。検査等をして法律に適合した範囲で扱うことになるので、市民の方へもお知らせして有効利用をしていきたいと考えている。

伝 承 芸 能 を 保 存 ・ 継 承 し て い く た め の 支 援 策 は

副島孝裕 議員

答 人 づ く り 振 興 事 業 補 助 金 で 対 応 し た い

業等で支援をしてきたが、今後は地域と協議しながら支援をさせていただきたい。

後継者の育成等については、人づくり振興事業補助金で対応できる。

教育長 地域での行事やお祭りへの積極的な参加や伝承芸能の鑑賞などを呼びかけている。

地区や保存会との協力が不可欠であり、学校側の十分な準備と協議が必要である。

副島 社会文化体育館の開館記念として、毎年継続できるような「嬉野市伝承芸能大会」の開催を提案したいと思うが。

市長 こけら落としということは、会館自体の目的をはっきりする意味で大事な事業であり、ぜひ取り組めるよう努力したい。

再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 導 入 促 進 に つ い て

副島 小水力発電基礎調査が実施されているが。

市長 再生可能エネルギーの導入については、最初から実現する方向で調査をしている。



▲復活した畦川内綾竹踊り

次世代のエネルギーの確保については喫緊の課題であり、引き続き検討していきたい。

副島 メガソーラー設置事業者の募集が実施されているが、今後どのような効果が見込めるか。

市長 吉田地区皿屋の市有地を、県と共に候補地として上げて検討を進めており、6社の企業が応募されている。

市内にメガソーラー基地が存在することで、自然に優しいエネルギーの自治体としてのイメージ

や、施設見学等により観光施設の利用増などに期待ができる。

副島 人口減少が進む吉田地区にとって貴重な市有地であり、定住促進等の有効利用を期待しているだけに、一抹の不安は残るものの、再生可能エネルギーの有効利用とあわせて、地域のため、市民のために貢献できる事業として進展していくよう期待したい。

震災地のがれき処理は

山下芳郎 議員

答 現在は受け入れるつもりはない



山下 風評被害を防ぐためにも震災地支援として安全が確認されたがれきを、近隣自治体と情報交換等協力して受け入れをすべきではないか。

市長 国の安全確保がなければ受け入れられない。



▲被災後のがれきの山

山下 被災地へのボランティア支援として市民へ募集の考えはないか。

市長 現地では経験者が必要とされているので能力を持った市職員の派遣で対応する。

市長 また、ジェネリック医薬品の普及を図るために呉市など先進自治体を参考にすべきではないか。

市長 嬉野市の単独では課題もあり、県の国保連合会へ共同で利用拡大を進めるよう提案する。

山下 高齢化に伴い医療費の負担を抑えるためにも「ジェネリック医薬品希望カード」を市民に発行して医療費の負担軽減と国保の歳出の削減を図るべきではないか。

市長 合併特例債の期限が迫っており、24年度に方針を固めないと言われないと思うが、24年度に懸ける思いを聞く。

市長 計画から20年近くなるが所有者の全員一致

春日溪谷のトイレ整備は

辻浩一 議員

答 作るとすれば市有地の駐車場と思う



トランスはどこ。国から口蹄疫の原因の報告はあったか

観光商工課長 行きやすいのは旧道の方が良いと思う。

観光商工課長 観光客が増える時期は、地元の方の農作業時期と重なる。道が狭く、農業機械などの離合が難しい。離合場所を整備できないか。

辻 春日溪谷のトイレはどこを想定しているのか。

産業振興部長 広川原キヤンプ場を想定していたが、距離的には遠いかなと感じている。

辻 地元の方が観光客にトイレの場所を訪ねられるが、近くに無いので気の毒だと言われている。

辻 春日分校の御衣黄桜にも観光客が多い。

春日溪谷にトイレの整備は出来ないか。

産業振興部長 溪谷と多良岳横断林道の交差するあたりが写真スポットもあり、車での観光客も多いので、その近くが良いのではないかと感じる。

辻 春日溪谷までのエン

建設・新幹線課長 春日溪谷を大々的に発信しているの、できる範囲で現地調査をしてみたい。

辻 嬉野にとって風評被害が怖い。

早期収束の対策をお願いします。



▲お金のやりくりで苦勞している会計課



が必要であり、理解に向けて説明の努力をする。
山下 所有者全員の賛同が期限までに得られない時は湯河原温泉のように賛同者で進めることも検討すべきではないか。
市長 遅れているが湯河原方式とは違うので当初から所有者の全員一致で進めており、今後も理解

頂くよう説明する。

「第二笹屋跡地」の有効活用について

山下 駐車場はもちろんのこと、誘客につながる朝市イベントなど市民の声を活かせたらと思う。
 また、嬉野温泉の泉質の良さを活かすために源泉の冷却タンクの設置は

考えられないか。
市長 活用計画会議で市民の声を聞く。
 源泉集中管理の進展を見ながら検討する。

基金の目標額は

答 総額を百億と考えている

田口好秋 議員



▲拡幅してほしい春日溪谷方面道路

削減法案が国会を通過した。
 このことに対する市長の見解とこの制度を導入するのか尋ねる。

市長 国は国の考え、地方自治体は地方自治体の考えで運営していくものと思っている。制度については、6団体で国に要望しているので、その方針に従う。

田口 市債との兼ね合いもあるが、基金の額はいくらを目標としているか。
市長 財政健全化をはかりながら事業を進めていくのが私の責務である。合併して新しい市としてしっかりやっていく責任を負っているので、基金についても慎重に取り組んでいる。合併後の算定変えの時期が来るが、その時の基金の目標額を百億円としている。
 これから非常に厳しいと思うが、目標額を確保しながら事業展開をしていくために中期財政計画を作り、その目標に向かって努力するよう指示している。

- その他の質問
- ・国道498号バイパス案について
- ・道の駅について
- ・楠風館の楠について

田口 平成18年から5年間取り組んだ行財政改革による財政効果額は。
市長 目標額を7628万円上回り25億9424万円の実績額となった。
田口 平成23年度から取り組んでいる第二次計画について示せ。
市長 歳出削減については、事務事業の見直し、事業の民間委託、組織機構の見直し、定員管理の適正化等105項目を上げ検討している。

収入増については、財政健全化の推進、補助金の見直し、自主財源の確保、公営企業の経営健全化等に取り組み、加えて市税や公共料金の滞納防止、収納率の向上を目指していく。財政効果目標額についてはまだまだまとまっていない。
田口 嬉野市職員給与のラスパイルズ指数は。
市長 2010年で95.6%である。
田口 国家公務員の給与

削減法案が国会を通過した。このことに対する市長の見解とこの制度を導入するのか尋ねる。

合併して新しい市としてしっかりやっていく責任を負っているので、基金についても慎重に取り組んでいる。

大野原地区にある最終処分場の拡張計画は

田中政司 議員

答 地元住民の同意が必要



田中 平成3年に事業が認可され、安定型の処理施設として埋め立てがおこなわれているが、間もなく満杯となり、現在拡張の計画があると聞いているがどうか。

市長 あくまでも許可者は県であり、その報告を受けるという状況である。県にはコンサルタントを通し、話があつたということである。

田中 認可するのは県であるが、認可の条件は住民の同意が必要か。

環境下水道課長 県のほうは、地区の同意が必要との指導である。

田中 地区とはどの範囲になるのか。

環境下水道課長 大野原地区である。

田中 大野原地区の同意だけで許可されたとなれば、他の地域の反対されている人々から、非難を受けることも考えられる。市が先頭に立って県との間に入り、盾になるべきと考えるが。

市長 産業廃棄物の処分法の中で、行政がとれることがあれば、勉強させていただき、適切な判断をさせていただきたい。今の状況では、県の許可の中にあるわけなので、そのような意見もストリートに県に伝え、理解していただくよう努力している。



▲100%の接続をめざす(五町田・谷所農業集落排水施設)

五

町田・谷所農業集落排水事業の進捗状況は

田中平一郎議員

答 計画通りに進んでいる



田中 平成23年供用開始された五町田、谷所地区の接続率は。

市長 現在、接続率については地域により差があり、平均して35%程度である。接続率の高い地域

では60%後半の数字も上がっている。

田中 平成18年度から平成23年度まで事業がなされたが、地元からの要望問題点はなかったか。

市長 事業自体については特になかった。ただ、工事中にできるだけ農業等に負担がかからないように、現場の配慮とか、道路の改良等の要望があつた。

田中 接続率は3年後には何%に持っていく予定か。

市長 この農業集落排水事業は推進員の努力によって進んでいるので、早急に100%の接続をお願いしたいと思っている。
田中 受益者分担金については、接続時に15万円を納付しなければならぬ。ただし併用開始後3年以内に接続すると、半額7万5千円になる。

もし併用開始から4年目に加入した場合はどうなるのか。

市長 期間以内にぜひ接続をといてほしい。期間外については平準にもどる。

田中 処理施設の事故防止について、タオル、靴下、雑巾など、色々なものが中継ポンプに詰まる事故があつた場合は自己負担になるのか。

環境下水道課長 今、公共下水道でも流れている。現在、委託契約をしているので、契約先で対処している。

田中 コンポスト施設が3月に完成する。汚泥を脱水して、肥料化に向けた計画がなされているが今後どうなるのか。

環境下水道課長 23年度中にコンポスト施設が稼働する予定である。最終的には肥料として出していきたい。肥料取得法による肥料登録等をして市民の方に還元していく。
田中 登録されて販売許可を取られて、今後有機堆肥として、有効に使えることを要望する。



▲大野原の産廃処分場

いきたい。

田中 あそこは、岩屋川

内ダムの上流、いわゆる市民の水がめの上流である。そこを考えれば、大野原地区だけでなく、地元同意の地域の拡大を県へ要請すべきでないか。

環境下水道課長 生活環境保全上の見地から、必要な対応はとっていき

たい。

観光の組織改革が必要

田中 官民一体となった

取り組みを進めるためには、組織改革が必要と訴

えてきたが。

市長 組織については、

全市上げて対応できるように対策をとっている。ただ、連携の中身については課題もあり、山田先生より提案があった、嬉野観光づくりということ

について、官民の力を合わせてやっているところである。

その他の質問

・茶の品評会対策

農道舗装を対象に

神近勝彦 議員

答 返還金等の問題がある



になつていたので、以前より取り組みやすい制度になると思っている。市役所としても、役員の負担にならないように、協力をしながら運営をお願いしたい。

神近 向上活動が水路改修だけでは限られた活動しかできないが、地区の

要望には、農道舗装が多いと思う。対象にできないのか。

市長 農道は制度にのついていないので、返還等の問題がでてくる。農道の重要性は十分承知しているので、今後い

ろんな事業について探っていくきたい。

湯けむりについて

神近 「湯けむり広場」

は、市民からあまり良い評価を聞かない。建物と湯けむり装置との間に、黒く塗った板扉を立てれば、湯けむりの白さが際立ち、景観も良くなると思うがどうか。

市長 再度、近隣の方と

協議して、植栽またはバツクのボードなど再整備に向けて改良したい。



▲農道整備に精を出す地区の人たち（真上吉田地区）

神近

湯けむりを出すために、燃料代がかなり大きいと聞いた。太陽熱温水とか他に方法は考えられないのか。

市長 効率化をしたらとの提案をいただいた。もし、導入するならば、自然に優しいエネルギーと

いうことでのイメージに繋がるので、今後研究させていたきたい。

神近 消費税増税はどう

思うのか。

市長 日本の財政状況を

勘案すると、増税はやむを得ないものがあると考えを発言してきた。

5年後の社会保障予算の予想は

財政課長 予想では、国

民健康保険、後期高齢、

肥料配布する時期は

西村信夫 議員

答 早く農地還元したい



西村 五町田・谷所農業集落排水施設は、美野・馬場下・上久間地区で発生する汚泥も発酵させて有機肥料として農地還元する計画であるが具体的にどうするのか。



▲コンポスト化するための設備(五町田・谷所農業集落排水施設)

市長 24年度は含有物の検査等を行い、最終的には肥料登録をして市民に還元する。

西村 肥料として市民に還元する時期は。

建設部長 当面は試運転になるが、農地還元を早くやりたい。

西村 五町田・谷所施設の稼働は「下水道の整備に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」(合特法)に基づき、合理化事業計画を策定して委託契約をしなければならぬが、24年度から締結しているか。

環境下水道課長 今のところ締結していない。

西村 締結しなくて予算計上はできないと思うが見解は。

建設部長 合理化事業計画に基づき、業者と覚え書き作成に取り掛かっている最中で早急に作成したい。

西村 高齢化が進み介護需要は毎年増加している。元気な高齢者が介護施設

湯宿広場にトイレを

答 建設の予定はない



山口 要 議員

山口 湯宿広場の足湯工事が着々と進んでいるが、地元住民から要望があるトイレ設置について、どう対応するのか。

市長 現在は建設の予定はなく、近隣の公衆トイレなどを案内したいと考えている。

視察誘致どうする

山口 全国の自治体からの視察観光について、どのように感じているか。

市長 現在、多くの自治体から視察を頂き、今後とも期待している。

山口 視察誘致費用として幾らかかったか。

総務部長 印刷製本費や配送料など含めて、28万円である。

山口 その効果もあつてか、昨年から本年にかけて、大半が議会視察だが309人の視察、その内204人が宿泊をして頂いている。このように結果がでていのに、当初予算で計上しなかったのはなぜか。

市長 特に理由はない。

山口 この誘致対策については、早急に取り組むべきではないか。

市長 6月議会で対応したいと考える。

スポーツ観光の誘致を

山口 スポーツ観光という点で見たときに、バレーや野球、そして柔道とそれぞれ効果がでてきている。今後、陸上関係にも働きかけてはどうか。

市長 このことについては、現在建設中の室内トレーニング場の利用も含め、宿泊料金の検討と併せて、働きかけを行っていききたい。

嬉野中の総合学習成果を活かせ

山口 嬉野中3年生の生徒が、それぞれグループを組んで、観光問題を含め研修を重ねて、その成果が発表された。このことについて役所内部で検討されたか。

企画部長 取り上げたところまでいってないが、各課員には話をした。

山口 今後は、そのことについて取り上げ検討会なり開催すべきだ。そして、今後の施策に反映させるべきと考えるが。

市長 すべて取り入れたいが、今後施策に展開するよう努力していきたい。



▲区役の作業風景



市長 佐賀県が広域管内のモデル事業として鹿島市で実施するよう検討されているが、本市でも前向きに考えている。

西村 現在、唐津市が取り組まれているが、事例を調査されているか。
健康福祉課長 唐津市は平成20年度から導入されて、市内の65歳以上の高齢者が介護奉仕を行う登録をする制度であり、介護施設などで奉仕の実績に合わせてポイントを付与して、現金に換金され

区役でた草や泥の 市有の処分場を

答 再度調査をする

小田寛之 議員

小田 水路や道路周辺など、区役として除草等した際に出た草や泥をどこに処分するか困っておられる地域がある。特定の方の民有地で処分されている状況もあることから、市有の残土処分場を整備できないか。

市長 樹木などは、焼却処分を一括して行うので、中継基地への持ち込みをお願いしている。少量の土砂についても市有地については処分ができない

小田 水路や道路周辺など、区役として除草等した際に出た草や泥をどこに処分するか困っておられる地域がある。特定の方の民有地で処分されている状況もあることから、市有の残土処分場を整備できないか。

市長 樹木などは、焼却処分を一括して行うので、中継基地への持ち込みをお願いしている。少量の土砂についても市有地については処分ができない

ので、地域での確保をお願いしている。現在の状況は地域の業者の方の御協力をいただき、有料で処理をしていただいている。現在までは適地がないので、今後、市有地については再度調査をする。

市長 各地域で河川内の泥を処理していただくということについては、適切かどうかということは別にして、今までもずっとやっていただいていたので、特にそれを市の所有地で処分しようというような考えにはならなかった。

小田 農業集落排水事業の処理場の除草作業をされている行政区がある。行政区によっては処分する場所がない。草刈り機も持っていないような地区にも当番が回ってくる状況で管理をしているのだから、せめて市でダンクを出して回収ができないかという話も出ている。



▲完成した湯宿広場

議会に視察相次ぐ

嬉野市議会視察来庁(議会関係)
22~24年度

年	月	日	県名	議会名	人数
22	4	5	佐賀県	佐賀市議会	24
	4	12	宮崎県	新富町議会	5
	5	19	福岡県	みやま市議会	11
	7	1	山形県	寒河江市議会	9
	7	16	大分県	豊後大野市議会	13
	7	21	熊本県	菊陽町議会	7
	8	5	熊本県	菊池市議会	5
	8	20	佐賀県	有田町議会	10
	9	28	栃木県	矢板市議会	3
	9	30	佐賀県	唐津市議会	3
	10	29	埼玉県	戸田市議会	13
	11	18	山口県	美祢市議会	12
	11	24	佐賀県	太良町議会	8
23	1	19	沖縄県	南風原町議会	11
	1	19	岡山県	笠岡市議会	6
	1	20	徳島県	三好市議会	11
	2	1	沖縄県	南城市議会	3
	2	2	福岡県	小都市議会	12
	2	2	大分県	日出町議会	7
	2	3	三重県	松坂市議会	6
	2	8	熊本県	氷川町議会	6
	2	17	沖縄県	浦添市議会	1
	5	13	鹿児島県	いちき串木野市議会	7
	5	19	山口県	光市議会	10
	7	26	奈良県	五條市議会	10
	9	1	東京都	早稲田大学 議会改革調査部会	11
	10	20	長崎県	五島市議会	8
	10	25	広島県	東広島市議会	9
	10	27	和歌山県	海南市議会	5
	11	8	宮崎県	串間市議会	8
	11	9	鹿児島県	西之表市議会	8
	11	10	鹿児島県	日置市議会	7
	11	15	福岡県	小都市議会	8
	11	16	神奈川県	厚木市議会	11
	11	21	鹿児島県	始良市議会	12
	11	21	岩手県	八幡平議会	7
24	1	18	千葉県	成田市議会	12
	1	30	鳥取県	倉吉市議会	4
	2	2	滋賀県	草津市議会	9
	2	9	長崎県	東彼杵町議会	9
	2	15	鹿児島県	志布志市議会	14
	3	26	石川県	羽咋市議会	6
				42団体	361

観光にも貢献

42市町 361人が来訪

嬉野市議会には、全国各地の市町議会より視察団の方々がみえられます。平成22年4月から平成24年3月までの視察者は42市町・361人でした。視察にみえられた中の207人が嬉野市に宿泊され、議会として僅かながらも観光に寄与したものと考えています。当市議会では、議会改革(議会基本条例等)関連の視察対応は議会活性化特別委員会で、議会だより関連の視察対応は議会広報編集特別委員会で、すべて議員が行います。今後とも、皆様に読んで頂ける議会だよりを作るとともに、議会改革に取り組んでまいります。



▲視察対応する委員会のメンバー

議会広報編集特別委員会

委員長	小田寛之
副委員長	山下芳郎
委員	山口要
委員	平野昭義
委員	織田菊男
委員	副島孝裕
委員	梶原睦也
委員	山口忠孝

知らぬ人に歪強いる桜かな(子規)。満開の桜をみていると思わず仲間と盃をやりとりしたくなる気分▼しかし東日本の人たちは未だ震災復興や放射能汚染と問題を抱えたままで花見気分には程遠い状況▼一日も早い復興が望まれるなか、国会では相も変わらず与野党の足の引っ張り合いと実に嘆かわしい限り。政治は三流とよくいったものです▼寺山修司の詩に「時計の針が前に進むと時間になり、後に進むと思いい出になる」とありますが、我が嬉野市も「思いい出」に浸ることなく、一歩前へと時を刻んできたものです▼そのために市議会としても一致結束して更なる議会改革に取り組んでいきます。(要)